

【能代南中学校 理科出前授業】

平成 22 年 8 月 30 日に、能代市の能代南中学校において、機械知能システム学科 須知成光 准教授が「風力発電の仕組みや活用の様子について」と題して理科出前授業を行いました。参加者は全校生徒 250 名で、秋田県内で多数利用されている風力発電について、その原理から実際の利用の例、また今後の風力発電のあり方などについて、簡単な実験を交えながら 90 分間にわたって解説を行いました。

能代市内には大規模な風力発電施設があり、自然エネルギーに対する関心も高いようです。校長先生から、能代南中学校では、今後太陽光発電や風力発電を学内に設置し、生徒の理科教育に役立てたいとの話もありました。授業の最後には生徒から多くの質問が寄せられ、風力発電に対する興味をかきたてられた様子うかがえました。

■参加者

約 250 名（1～3 年生）、教員若干名

■日程および会場

- ・平成 22 年 8 月 30 日
- ・能代南中学校体育館（能代市）



授業の様子